

## A グループ

- ① パーティーで何%位セットが踊れれば良いか  
DoSaDo パーティー、ビギナ修了パーティーでは 80%程度  
アニバーサリーパーティーでは 50%程度を目標にする。  
コール内容を3段階ぐらいのレベルで準備する。
- ② サイトコールとライトアップどちらがよいか  
基本サイトコールがよい  
ダンサーを見ながらコールする事。止まらないコール。
- ③ 間違えた時の対応は  
3手から5手戻しを頭に入れる。  
  
ただし、難しい場合は素直に謝ってスクエアセットをお願いする。
- ④ 発音は NATIVE なみ、カタカナ英語どちらが良い  
日本のダンサーに聞き取りやすいカタカナ英語をすすめるが、  
世界を目指すコーラーはNATIVEでOKです。  
発音のきれいなコーラーは聞いていて気持ちがいい。
- ⑤ 音楽が前のコーラーと被った場合は  
連続してはNGである。コーラーさんは数曲(4曲程度)できる様に
- ⑥ ボディフローと意外性は  
基本ボディフローはすべてに優先する。

### ※Party で意地の悪いコーラーさんの場合

ダンサーの皆さんが意地の悪いコーラーの性格を知らないのだから

コーラーとしては楽しく踊れる雰囲気作りに努力して意地悪コーラー で自己満足に酔わない様に

### 例会・講習会では

- ① スケジュールに合わせて講習を進行する。
- ② コーラーは先生ではない。
- ③ 定義をしつかり覚えてもらう。
- ④ コーラーは人間味ある常識人たれ。  
以上がA班の討議して得た発表者(大山定利)のまとめです。以上